

よこすか 歴史マップ



スカナビ① 横浜観光案内アプリ
 横浜市内の最新の観光情報を発信し、横浜観光土産店、よこすか海軍カレーレストランが併設される「YYポート横浜」1階にある観光案内所。
 横浜観光案内所 046-822-8301 9:00~17:00 1月1日~1月3日

汐入ターミナル観光案内BAR
 YOKOSUKA 軍港めぐり汐入ターミナル(発券所)内にある観光案内所。
 お土産販売、休憩場所もある。
 横浜観光案内所 2-112 ダイエーショップスプラザ1F 1F 1F
 10:00~16:30 ※YOKOSUKA 軍港めぐり 10:00 催事開催の場合 9:00~16:30 なし

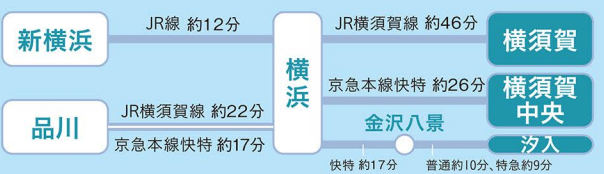
横浜観光案内所
 (京急観光横浜旅行センター内)
 京急線横浜中央駅東口改札を出て、左手にある観光案内所。
 横浜観光案内所 2-25 京急横浜中央駅構内
 10:00~18:45 なし

交通機関のお問い合わせ

鉄道	京急ご案内センター	03-5789-8686 045-441-0999
	JR 東日本テレフォンセンター	050-2016-1600
観光バス	船子営業所(長井、田浦方面)	046-873-5511
	進洞営業所(進洞、田浦、東島方面)	046-866-2311
	衣笠営業所(衣笠、横浜中央、汐入方面)	046-836-0836
	堀内営業所(観音崎、浦賀方面)	046-822-5711
	久里浜営業所(久里浜、YRP野比方面)	046-835-1211
	三崎営業所(衣笠、長井、三崎方面)	046-882-6020
タクシー	トライアングル(猿島船路・軍港めぐり)	046-825-7144
	東京湾フェリー(久里浜~全倉)	046-835-8855
その他	神奈川県タクシー協会横浜支部	046-836-7852
	横浜個人タクシー協同組合	046-834-4359
情報	神奈川道路交通情報	050-3369-6614

このリーフレットは80,000部製作し、1冊あたりの印刷費は12.00円です。
 大型を原料としたインク(SOYINK)を使用しています。

■ 電車をご利用の場合



■ 車をご利用の場合



横須賀

歴史マップ

Yokosuka City - Japan's Door to the World
Where you can find history of military port.



ペリー来航期

ペリー記念館 **☎D4**

ペリー記念館では、ペリー来航に関する歴史的資料や模型などが展示され、当時の絵巻物や瓦版などから、人々の驚きや動揺を知ることができ、記念館は、ペリー来航という歴史的事実や、その意義を将来にわたって伝えていきます。

ペリー公園

ペリー公園を記念する公園であり、園内の中央に立つ記念碑は明治34年(1901)に米友協会が建立したもので、碑文は伊藤博文によるものである。

☎ 横須賀市久里浜 7-14 ☎ 046-834-7531

浦賀ドック **☎C4**

浦賀のドックは国内に2基しかないが横須賀のドックで重要な土木遺産です。浦賀造船所が建設された船塀は、約千隻にのぼり、青田造船所(産衛艦・日本丸世・海王丸)もここに造船された。浦賀造船所、浦賀重工業を経て佐賀重工業となり、平成15年(2003)3月に閉鎖され、現在一般の見学は出来ません。

☎ 横須賀市浦賀 4-7

愛宕山公園 **☎C4**

明治24年(1891)に開園した市内で一番古い公園です。この浦賀乗船の際に交遊した浦賀行組身方・中島三郎助の招請碑を建立した。公園として整備された。明治35年(1896)に日米米好通商条約の締結100年を記念して威風丸出港の碑が建てられています。碑の裏には、艦長の海防舟をはじめ、福浦諭吉、ジョン万次郎などの乗組員の名が刻まれています。

☎ 横須賀市西浦賀 1-23

横須賀製鉄所

横須賀製鉄所(米海軍横須賀基地内) **☎B2**

米海軍横須賀基地内には、横須賀鎮守府庁舎や日本で最も古いドライドックなど歴史的建造物が数多く残っています。現在の在日米海軍司令部庁舎は、大正15年(1926)に横須賀鎮守府庁舎として建造された建物です。鉄骨造りドライドックは大正建築の傑作とされています。日本最初の1号ドライドックはヴェルニーの設計により明治4年(1871)に完成しました。同時に建造された2号・3号ドックも含め100年以上たった今も使われ続けています。その他にも第二次世界大戦中に巨大空母「信濃」を建造した6号ドックや「海軍砲術学校」校門銘板「横須賀製鉄所後碑」などが残っています。

ヴェルニー公園とヴェルニー記念館(スチームハンマー) **☎B2**

ヴェルニー公園には、現在は米海軍横須賀基地として利用されている横須賀製鉄所跡地を望むように、ヴェルニーと小栗の胸像が並んでいます。フランス庭園様式の公園は、春と秋に咲くバラや自衛隊、米軍の艦船を間近に見ることができスポットとして知られています。公園の一角にあるヴェルニー記念館は、横須賀製鉄所を作り上げたヴェルニーの功績と、横須賀製鉄所の意義を永く後世に伝えるために建てられた施設です。中には1855年に製造されたオランダのロケットから横須賀製鉄所に輸入された以後、100年以上にわたって使われていた3トン・0.5トンのスチームハンマー(蒸気の圧力でハンマーを動かして作業を行う工作機械)が展示されています。日本に近代西欧の技術が輸入され、西欧文明を消化吸収していった歴史を語る貴重な文化遺産として、いずれも国の重要文化財に指定されています。

ヴェルニー公園 ☎ 横須賀市汐入 1-1 ☎ 046-824-6291
ヴェルニー記念館 ☎ 横須賀市東逸見町 1-1 ☎ 046-824-1800

近代

旧横須賀鎮守府長官官舎 **☎B3**

横須賀鎮守府長官官舎は、大正2年(1913)に建築され、東伏見宮依仁親王以来、終戦までに31人の歴代長官が居住しました。この建物は木造平屋建ての洋風建築と二階建ての洋風が融合された住宅で、洋風部分は、大正2年の建築で、洋風部分は、その間の壁をしっかりと建てたものを基本とし、三角屋根が特徴の美しい建物です。通常、見学は出来ませんが例年桜の時期に一般公開されます。

旧海軍下士官兵集会所(E Mクラブ) **☎B3**

現在、横須賀芸術劇場が建つ場所には、旧日本海軍の下士官兵集会所があり明治35年(1902)の設立から終戦までの長い歴史を通じて海軍の下士官兵たちの憩いの場所でした。戦後はアメリカ軍に接収され、アメリカ海軍の兵員集会所(E Mクラブ)になりました。クラブ内のステージにはルイ・アームストロングをはじめ世界のトップジャズメンが慰問に訪れ、当時の若き日本のプレーヤーとしては登壇的的存在でした。どぶ板通のモルには、多くのジャズメンの手形レリーフが埋め込まれています。

記念艦「三笠」 **☎B3**

「三笠」は日露戦争時の連合艦隊旗艦。明治38年(1905)の日本海海戦で東郷平八郎司令長官が艦隊旗艦のバルチック艦隊を撃破しました。明治以降に多くの重艦を建造しましたが、現存する艦艇は三笠のみです。艦内には旧海軍の制服や装備、日露戦争関連の展示のほか、東郷平八郎司令長官の公室、参謀長室、艦長室などが見学できます。

☎ 横須賀市福岡町 82-19 ☎ 046-822-5225

坂本龍馬の妻「おりょう」の墓(信楽寺) **☎C3**

坂本龍馬の妻、おりょうは寺田屋敷の際に、龍馬の危機を救ったことで知られています。慶応2年(1866)に龍馬と結婚しますが、翌年に龍馬が暗殺された後は各地を転々とし、明治8年(1875)年に再び、横須賀市上町(当時の豊島町)に住み、後に横須賀米が浜(深田村)に移ったと伝えられています。明治39年に亡くなり、大津の信楽寺に墓があります。

吉田松陰が宿泊した徳田屋 **☎C4**

ペリー来航時には黒船を見聞するために吉田松陰や佐久間象山らが同宿した徳田屋。今後の日本のとべき方向などを語り、議論百出したといわれています。関東大震災までは存在しましたが、今はその跡に碑が立てられています。

☎ 横須賀市東浦賀 2-7

勝海舟が断食した井戸・東叶神社 **☎C4**

安政7年(1860)、勝海舟一行は威風丸で太平洋を横断しました。その際、航海の成功を祈願し東叶神社に詣で、境内にある井戸をくみかき水を済ませ、社殿から水道を山頂まで登り、奥の院の片隅で座禅を組み、断食修行を行ったと伝えられています。

☎ 横須賀市東浦賀 2-21-25 ☎ 046-841-5300

西叶神社 **☎C4**

社殿を取り巻く総数230を超える彫刻は彫刻師「後藤利兵衛」の作品です。拜殿の格天井(ごうてんじょう)の花鳥の彫刻には、当時の日本には渡来していないとされる花や鳥も彫られています。

☎ 横須賀市西浦賀 1-1-13 ☎ 046-841-0179

観音崎灯台 **☎C4**

明治2年に日本最初の洋式灯台として点灯されました。現在の灯台は3代目であり東京湾の道しるべとして、広大な海域を見守っています。のぼれる灯台の1つで灯台資料館展示併設されています。

☎ 横須賀市鶴巻 4-1187 ☎ 046-841-0311

観音崎公園 **☎C4**

戦後後も多くの砲台跡が残っていた観音崎ですが、昭和50年(1975)に親立公園として整備されました。現在も丸が造りの弾薬庫や石積の砲台跡、北門第一砲台三軒家砲台などが数多く残されています。

観音崎ピタターセンター 横須賀市鶴巻 4-1120 ☎ 046-843-8316

走水水源地 **☎C4**

横須賀造船所の稼働率が高くなり、その用水を確保するために、ヴェルニーは走水の湧き目を付け、これを造船所まで引くことを考えた。水源地から造船所までの距離は約7kmですが、測量の結果、高低差はわずか10mほどでした。そこで効率よく水路を引くために完成した。走水水源地は関東大震災時にも水害に遭わず、現在は1日、1000mの水を供給しています。春には約30本の桜が水源地に花開きます。普段は入れない水源地のこの時期に一般開放され、多くの花見客でにぎわいます。

ヴェルニーの水

降水後約20年を経て湧き出ると言われている水は、カルシウムなどを多量に含み、美味しいこと有名です。(水調法に基づき塩素を含んでいません)

走水神社 **☎C4**

村民が日本武尊より贈った「冠」を石甕(いしづ)に納め、その上に社殿を建て日本武尊を祀ったこと伝説水神社の始まりと伝えられています。崇徳天皇が崩御された際に、この水に飲ませられたと伝説され、明治43年(1910)に歌碑として走水神社の境内に建碑され、除幕式には東郷平八郎、乃木希典も列席しています。

☎ 横須賀市走水 2-12-5 ☎ 046-844-4122

旧重砲兵連隊営門 **☎B2**

汐入から坂道を上った坂本町には陸軍の横須賀重砲兵連隊が置かれ「海軍の下町」「陸軍の上町」といわれたたそうぞう。汐入3丁目から坂本町の入り口にある砲台跡に、細い坂道は、下の町警署に遊びに出た兵隊たちが門限に達しないよう駆け上ったことから「割切坂」と呼ばれました。明治40年(1907)に竣工した重砲兵連隊の営門が、小学校、坂本中学校の門として現在も使用されています。

☎ 横須賀市坂本町

貝山緑地 **☎A2**

貝山頂上からは米海軍基地や猿島、遠くは防衛大学校のある小倉台や防衛隊の山々を望み、眼下には横須賀湾を出入りする自衛隊の艦船を見ることが出来ます。貝山緑地の下には、第二次世界大戦中に掘られた地下壕が残り、立入り禁止されています。見学することはできません。

第三海堡構造物

海堡とは兵器を施した人工島のことです。明治25年に起された大正10年に竣工した第三海堡は2年間の関東大震災により破壊してしまいました。平成12年から撤去作業が実施され、この際引けられた構造物の一部がうみかぜ公園と夏島都市緑地内で展示されています。

うみかぜ公園 ☎ 横須賀市平岡町 3-23 ☎ 046-826-2899
夏島都市緑地 ☎ 横須賀市島崎 2-26

陸軍橋樑 **☎C4**

太平洋戦争終了後、南方や中国大陸からの引き揚が者約25万人が、懐かしく日本の地に第一歩を印したところ。浦賀港の引き揚げの歴史を後世に伝えるため平成18年10月に記念碑が設置されました。

☎ 横須賀市西浦賀 1

現代

猿島 **☎B3**

東京湾の要所に位置する猿島は幕末・明治初期、昭和と三度にわたる砲台が築かれた歴史があり、幕末には黒船に対する守りを固めるために建設され、現在残されている丸が造りの砲台跡は、明治初期に砲台跡によって造られたもので、いずれも震災により倒壊しましたが、昭和16年(1941)以後鉄筋コンクリート製の砲台が5座造られ、防空のために丘角砲が配備されました。砲台跡は現在も猿島に残っています。

☎ 横須賀市猿島 1

横須賀駅 **☎B2**

横須賀線は横須賀が軍事上の重要性が持ったことから、旧陸海軍の要請により、明治22年(1889)に完成、開業しました。横須賀駅は、全国でも珍しい「階段がない駅」です。軍の資材などを効率よく列車に積み下ろしするために考慮されたと言われています。現在1番線は閉鎖されており、「1番線のない駅」とも言われています。

☎ 横須賀市汐入 1-1

浦賀の渡船 **☎C4**

港に隔てられた浦賀の町や東西の舟社をつなぐ浦賀の渡船は、享保10年(1725年)頃から始まる長い歴史を持つ浦賀のシンボルです。また、航路は全国的に珍しい水上の市道となっています。

☎ 横須賀市東浦賀 2-22, 西浦賀 1-1 ☎ 046-841-1509 (株式会社ミウラ建設)

YOKOSUKA軍港めぐり **☎B2**

米海軍基地のある横須賀軍港と海上自衛隊基地のある長浦港、二つの港を約45分で巡る横須賀ならではのクルージングです。

☎ 横須賀市本町 2-1-12
ダイエーショッププラザ1F シンサイド
046-825-7144 (株式会社ライオンブル)
10:00-11:00-12:00-13:00-14:00-15:00 出航
※11:00 便は土日祝およびGW、夏休み〜11月の平日に運航 休止
※気象・海象等により欠航の場合あり
※大人:1,400円/小人:700円
※P有料※ショッププラザ駐車場は乗船券購入で割引あり

防大ツアー **☎B4**

走水海岸に臨む山の上(小原台)にある、将来の幹部自衛官となるべき者を育成する防衛大学校を見学、学生会館では防大グッズを購入することができます。(参加料、要予約)

☎ 防衛大学校総務課広報ツアー係
☎ ホームページ: <http://www.mod.go.jp/nda/>

どぶ板通り **☎B2**

旧日本海軍の軍港として栄えた当時、通りをトブ川が流れていて、その上に厚い板が敷いてあったことから、こう呼ばれていたようです。戦後は横須賀に駐留した米軍の音楽隊として栄えました。

☎ 京急汐入〜横須賀中央

横須賀ゆかりの人物

フランソワ・レオンス・ヴェルニー

江戸幕府は諸外国から開港場の整備②洋式灯台の整備③艦船修理施設の整備を求められており、ヴェルニーはその中の一。横須賀製鉄所の整備と観音崎灯台など洋式灯台の建設に携わり、近代横須賀の礎を築きました。

小栗上野介

日米好通商条約の批准のため、アメリカ海軍艦隊「ハンタウ」号で渡米した。アメリカで造船所を見学した際、日本との製鉄技術の差に驚き、記念に「ねじ」を持ち帰った話は有名です。帰国後は横須賀製鉄所の建設に尽力しました。

栗本露雲

箱館奉行組頭を経て横須賀製鉄所の御用掛となり小栗上野介とともに横須賀製鉄所の建設に尽力しました。後に外国奉行となり日親露雲の構想となりました。

マシュー・カルブレイス・ペリー

アメリカ大統領の日本開国を求める親書を携えて、1853年7月8日、浦賀沖に4隻の黒船が来航しました。翌年には「日米親善条約」を締結しました。

東郷平八郎

連合艦隊の司令長官。日露戦争では三笠に艦隊司令官のバルチック艦隊を撃破しました。

前島密

「郵便の父」として知られる前島密。浦賀沖にペリーが来航した際も江戸幕府の視見役・井戸石見守の儀にのみ、黒船を目の当たりにしています。このときの体験から日本の近代化の必要性を感じ、船学に励んだと言われています。

横須賀はじめて物語

- 日本最初のクレーンは横須賀製鉄所で使われたが、当時は火力で動かしていた。
- 日本で最初に名刺交換をしたのはペリーと浦賀奉行所である。
- 日本で最初にフランス式簿記を導入したのは、横須賀製鉄所の主木柁・稲垣喜多造である。
- パービー人形は、アメリカのマテル社と横須賀メリヤス工業が共同開発したものである。
- 日本最初の時計台は、横須賀製鉄所内のれんが造りの時計台である。
- 日本最初のディスクは、汐入駅周辺の防空壕の中にあっただ。

横須賀先情報サイト「ここはヨコスカ」
横須賀の観光スポット、イベント情報を紹介するホームページ。

ここヨコスカ 検索
<http://www.cocoyoko.net/>

facebook <http://www.facebook.com/cocoyoko.net/>

発行: 横須賀観光促進実行委員会(横須賀市 商工会議所 京急会館)
平成22年2月発行 | 印刷: 横須賀市印刷局 | 印刷部印刷 | 印刷部印刷
事務局: 横須賀市経済産業観光課 ☎046-822-8124